

資 料

欧米およびアジア諸国の金利水準

各国の金利水準を取りまとめて比較すると別表の通りであり、これを通観すると各国別の高低は経済の成長率や投資のテンポなどとおおむね照応するということがうかがわれる。

1. 公定歩合

わが国の2銭～2銭2厘(7.30%～8.03%)より高いのは、ギリシャ(10%)、エクアドル(10%)、台湾(19.5%)のみであるが、次のような事情も考慮する必要がある。

(イ) フランスの場合はかなり大幅な高率適用があること(1次高率8%、2次高率10%)。

(ロ) ブラジルでは商手割引の低率に対して一般の手形は著しく高いこと(10%)。

2. 市中貸出金利

商手2銭、並手2銭2厘(それぞれ7.30%、8.03%)というわが国の自主規制金利を海外と比較すると、英米など最も低金利の先進国よりはかなり高く、その他の国との関係は区々というところである。

すなわち、

- (イ) 後進国ないし中進国は総じて高水準にあり、ギリシャ、アルゼンチン、ブラジル、インドネシア、韓国、台湾などはいずれもわが国より高い。その他の後進国においても、高利貸的なものが多いことを考慮すれば、実質的にはかなり高い水準(インド、ビルマ、タイ、イランなど)。
- (ロ) 西ドイツ、イタリアにおける割引利率はわが国より低いが、銀行貸出の相当部分または半ば以上を占める当座貸越(2銭から2銭5厘)を基準に考えれば、わが国とさしたる開きはな

い。

(ハ) 米国でも消費者金融(14%前後)、中小金融(8%前後)は相当の高水準。また25%程度の歩積みもかなり行われている模様。

3. その他

預金金利の国際比較は貸出金利とおおむね同傾向である。

社債の利回りは、米国、英国よりはかなり高いが、フランス、イタリアに対してはそれほどの相違ではない。

4. 金利水準の背景

わが国の公定歩合がやや独歩高の形となつているのは、主として慢性的オーバー・ローンのためであつて、海外ではそういう例は少ない。ただし公定歩合も高いギリシャや台湾の場合はかなりのオーバー・ローンである(多少同傾向の国：フランス、アルゼンチン、エクアドル、韓国、イランなど)。

金利水準に影響する一般的な背景として、経済の成長率(国民所得の伸長率)や国民所得に対する投資の比率を国際的に比較してみると、わが国が著しく高くなつている。

すなわち、わが国の成長率(最近5年平均約10%)はインフレ傾向にある一部後進国(台湾、ブラジル、アルゼンチン)を除けば世界一であるし(比較的高い国：西ドイツ、ギリシャ、エクアドル、韓国、ニュージーランドなど)、投資の比率(平均28%)も世界に類がない(比較的高い国：西ドイツ、イタリア、ニュージーランドなど)。

欧米主要国の金利水準

国名	公定歩合 (%)	短期金利 (%)			長期金利 (%)		預金金利 (商業銀行) (%)				備考	関連指標 (最近5か年平均)		
		商業銀行貸出	商業銀行割引	当座貸越	社債	商業銀行貸出	抵当貸付	当座預金	3か月以下	3~6か月			6か月以上	
米 国 (1958年9月15日現在)	割引貸付 2.0	4.0 ⁽¹⁾ 4.40~6.10 ⁽²⁾			4.07 ⁽³⁾	4.40~8.70 ⁽⁴⁾	4 $\frac{1}{4}$ ~6 $\frac{1}{2}$ ⁽⁵⁾	無利子	最高 1.0	最高 2 $\frac{1}{2}$	最高 3.0	(1) プライム・レート、優良企業向け無担保短期貸出 (2) 大銀行短期貸出平均金利 (3) 超一流社債利回り (4) 期間1~5年分 (5) 商業銀行、相互貯蓄銀行、貯蓄貸付組合の住宅抵当貸付金利で4 $\frac{1}{4}$ %は復員軍人援護局保証分、期間25~30年	経済成長率 3.02 資本形成率 (民間) 14.9 中央銀行民間貸出対銀行券比率 0.29	
英 国 (1958年8月15日現在)	割引貸付 4.5	最低 4.5 ⁽¹⁾ " 5.0 ⁽²⁾ " 5 $\frac{1}{2}$ ~6.0 ⁽³⁾	3 $\frac{7}{8}$ ~3 $\frac{1}{2}$ % ⁽⁴⁾	最低 4.5 ⁽⁶⁾ " 5.0 ⁽⁷⁾ " 5 $\frac{1}{2}$ ~6.0 ⁽⁸⁾	6.15 ⁽⁹⁾	ほとんどのない	6.5以上	原則として無利子 (ただし手数料をとる場合あり)	2.5 ⁽⁴⁾	ほとんどのない	ほとんどのない	(1)(6) 国有企業 貸出、割引、当座貸越の規模につ (2)(7) 一流法人 いては当座貸越が最も大きく、次 (3)(8) 一般法人、個人 いて貸出、割引の順となっている (4) ロンドン・流銀行、引受業者により引き受けられた銀行引受手形 (5) 一流商業手形、(4)(5)ともこのほか引受手数料、印紙税が徴せられる (9) 応募者利回り7月29日現在 (6) 商業銀行通知預金 (引出前7日の予告期間を要するもの)、クリアリングバンクは通知預金のみ、その他銀行は3か月以上もあるが、個々の契約	経済成長率 2.8 資本形成率 (民間、政府) 15.6 中央銀行民間貸出対銀行券比率 0.9	
西 ド イ ツ (1958年7月末現在)	割引 3.0 貸付 4.0	6 $\frac{1}{2}$ ⁽¹⁾ 5.0~6.0 ⁽²⁾ いずれも最高金利		7 $\frac{1}{2}$ ~9 ⁽³⁾	6 $\frac{1}{2}$ ⁽⁴⁾	6.0~8.0	6 $\frac{1}{2}$ ~8 ⁽⁵⁾	最高 1 $\frac{1}{2}$ ~1.0	最高 2 $\frac{3}{8}$ ⁽⁶⁾	最高 2 $\frac{3}{4}$ ⁽⁷⁾	最高 3.0~3 $\frac{7}{8}$ ⁽⁸⁾ " 3.0~4 $\frac{1}{4}$ ⁽⁹⁾	(1) 手形引受信用、手数料3%を含む (2) その他一般手形割引で手数料1 $\frac{1}{2}$ ~2%を含む (3) 交互計算信用といわれ、当座貸越に相当、商業銀行貸出は当座貸越の形で行われ、当座貸越と割引の比は2対1である (4) 工業債当償、金融債を含む表面金利 (5) 抵当銀行および貯蓄銀行の貸付金利 (6)(7)(8) とも商業銀行の定期 (9) 貯蓄預金	経済成長率 7.9 資本形成率 (民間、政府) 24.8 中央銀行民間貸出対銀行券比率 27.4	
フ ラ ンス (1958年8月末現在)	割引 5.0 第1次高率 8.0 ⁽¹⁾ 第2次高率 10.0 ⁽²⁾ 貸付 7.0	最低 8.0	最低 5.6 ⁽³⁾ " 6.1 ⁽⁴⁾ (実効金利推定) 6 $\frac{1}{2}$ ~8.0	最低 8.6 (実効金利推定) 9.0~10.0	7.86 ⁽⁵⁾	最低 7.6 ⁽⁶⁾	最高 1 $\frac{1}{2}$ ~1 $\frac{1}{4}$	最高 2 $\frac{1}{4}$ ~2 $\frac{1}{2}$ (2~3か月)	最高 2 $\frac{1}{4}$ ~2 $\frac{3}{4}$	最高 2 $\frac{3}{4}$ ~3 $\frac{1}{8}$ ⁽⁷⁾	(1) 高手再割限度超10%までの割引について (2) 上記(1)をこえる分の割引について、(3) フランス銀行選格手形で期間3か月以内の手形のうちフランス銀行本店所在地を支払場所とするもの (4) (3)の手形でフランス銀行本店以外を支払場所とするもの、貸出、割引、当座貸越の規模は割引が圧倒的に多い (5) 応募者利回り期限12~15年、22銘柄平均6月末現在5年以内の手形で、政府機関が再割を承認したもの期間6か月以上12か月未満	経済成長率 4.1 資本形成率 (民間、政府) 17.9 中央銀行民間貸出対銀行券比率 49.2		
イ タ リ ア (1958年8月末現在)	割引貸付 3.5 (1958年8月末現在)	最低 6 $\frac{1}{2}$ ~8 $\frac{1}{2}$	最低 5 $\frac{1}{2}$ ~7 $\frac{1}{2}$	最低 7 $\frac{1}{2}$ ~9.0	6.67 ⁽¹⁾	7 $\frac{1}{2}$ ~8 $\frac{1}{2}$	最高 1 $\frac{1}{2}$ ~3.0	最高 1 $\frac{1}{2}$ ~4 $\frac{1}{2}$ ⁽²⁾			7.0 ⁽²⁾ 4.0 ⁽³⁾	(1) 応募者利回り、7月末現在 (2) 定期、期間不明 (3) 市中金利は公定歩合引下げ以前 (1958年6月従来の4%から3.5%に引下げ) のもの、最近の金利は明らかでない	経済成長率 5.0 資本形成率 (民間、政府) 21.6 中央銀行民間貸出対銀行券比率 26.6	
ギ リ シ ャ (1958年6月末現在)	基準 10.0 高率適用最高 18.0	9+ $\frac{1}{12}$ ⁽¹⁾ Per month										7.0 ⁽²⁾ 4.0 ⁽³⁾	(1) 1か月ごとに9%に $\frac{1}{12}$ %を加える、実効金利はこれをかなり上回っている数値 (2) 平均 (3) 政府預金	経済成長率 6.2 資本形成率 (民間) 11.2 中央銀行民間貸出対銀行券比率 131.4
アルゼンチン (1958年5月末現在)	6.0	最高 10.0									4.5 ⁽¹⁾	(1) 定期預金	経済成長率 21.4 中央銀行民間貸出対銀行券比率 91.7	
ブラジル (1958年5月末現在)	割引 6.0 商手 10.0 その他一般	最高 12.0						3.0 ⁽¹⁾			6.0 ⁽²⁾	(1) 普通預金 (2) 定期預金 期間6~12か月	経済成長率 39.6	
エクアドル (1958年5月末現在)	10.0									8.0 ⁽¹⁾		(1) エクアドル抵当銀行農業貸出最高金利	経済成長率 7.1 中央銀行民間貸出対銀行券比率 61.9	
ソ 連 (1958年3月末現在)		1.0~3.0 ⁽¹⁾						0.5~1.5 ⁽²⁾	2.0 ⁽³⁾		3.0 ⁽⁴⁾	(1) ソ連にはいわゆる商業銀行なるものはなく、各国営企業、協同組合、コルホーズは直接ソ連国立銀行に勘定を開設している国立銀行の国営企業に対する短期貸付および農業銀行、住宅建設銀行の長期貸付を含む (2) 国立銀行の預金利子 (3) 貯蓄銀行の普通預金 (4) 貯蓄銀行の定期預金	経済成長率 9.2 資本形成率 25.0	

日 本 (1958年9月16日現在)	商 手 7.30	1件300万円超 自主金利 8.03	1件300万円超 自主金利 7.30	自主金利 9.49	一般事業債 応募者利回り 7.8~7.9	長銀平均金利 9.49	普通預金 2.56	3か月 4.3	6か月 5.5	1年 6.0		経済成長率 10.4 総資本形成率 28.2 本行貸出の対 32年 (うち民間 19.8) 銀行券比率 60.9 (5か年平均 46.3)
-----------------------	----------	-----------------------	-----------------------	-----------	-------------------------	-------------	-----------	---------	---------	--------	--	---

アジア主要国の金利水準

国名	公定歩合 (%)	商業銀行貸出利率 (%)	特殊金融機関長期金利 (%)	農業金融貸出利率 (%)	預金利率 (%)				備考	関連指標 (最近5か年平均)	
					当座預金	3か月	3~6か月	1年以上			
イ ン ド (1958年4月末現在)	割引貸付 4 農業資金 2	ステートバンク 4 $\frac{1}{2}$ 大銀行中心レート 5 $\frac{1}{2}$	工業金融公社 6 $\frac{1}{2}$ 工業信用投資公社 6	農業組合の対農家貸出 6 $\frac{1}{4}$			3 $\frac{3}{8}$ ~4			業者間手形形見 9~12 $\frac{1}{2}$ % 土着銀行、貸金業者の勢力が大きい	経済成長率 3.5 資本形成率 6.9 中央銀行民間貸出対銀行券比率 21.9
パキスタン (1958年4月末現在)	割引貸付 3	商品担保 4~8 無担保 2 $\frac{3}{4}$ ~9	工業金融公社 4 $\frac{1}{2}$	農業開発金融公社の対協同組合貸付 4	1 $\frac{1}{4}$ ~1 $\frac{3}{4}$	1 $\frac{1}{2}$ ~3	1 $\frac{1}{2}$ ~3	1 $\frac{1}{2}$ ~4 $\frac{1}{2}$			経済成長率 2.2 資本形成率 24.3 中央銀行民間貸出対銀行券比率 24.3
フィリピン (1958年3月末現在)	割引貸付 4 $\frac{1}{2}$	平均 6.34	復興金融公庫 4		(普通預金) 3		3	3.5			経済成長率 3.7 資本形成率 9.0 中央銀行民間貸出対銀行券比率 15.5
インドネシア (1958年1月末現在)	最低割引貸付 3 最高割引 6 " 貸付 6 $\frac{1}{2}$	一般 9~12 輸入金融 10	興業銀行 7.5		(普通預金) 3 通知預金 3.3		4	5	20以上		中央銀行民間貸出対銀行券比率 10.1
ビルマ (1958年1月末現在)	割引貸付 3	政府公債担保 4~7		協同組合 12(短期)			1 $\frac{1}{4}$ ~2	3 $\frac{1}{4}$ ~3			貸金業者 24~36 中央銀行民間貸出対銀行券比率 0
タ イ (1958年1月末現在)	割引貸付 7			協同組合 8(長期) 9~10 (短期)							貸金業者 25~30 中央銀行民間貸出対銀行券比率 0
韓 国 (1958年4月末現在)	割引 6.57 貸付 7.3	割引 17.52 貸付 18.25 当座貸越 18.98			(定期預金) 10 貯蓄預金 18 通知預金 3.8					開資金がきわめて多く利率は50~60	経済成長率 8.2 中央銀行民間貸出対銀行券比率 62
台 湾 (1958年6月末現在)	対一般 (主に公企業) 割引 11.3 貸付 12.5 対金融機関 割引 19.5	割引 19.9 信用貸 22.5 担保貸 19.9	政府保証社 20		2.9 通知預金 5.5		1年 17 3年 21			開金融が商業銀行預金を上回り、利率は36.5~48といわれる	経済成長率 15 中央銀行民間貸出対銀行券比率 143
イ ラ ン (1958年3月末現在)	割引貸付 4	短期 6					2	4			貸金業者 25~40 中央銀行民間貸出対銀行券比率 72.9
ニュージーランド (1958年6月末現在)	割引貸付 7	担保付 5.42						2年 3.5			経済成長率 7.2 資本形成率 27.1 中央銀行民間貸出対銀行券比率 37.4
中 共 (1958年6月末現在)	最低 5.76 最高 8.64				(普通預金) 2.88		5.04	6.12	7.92		貸出の最低は農業生産協同組合および開墾移民であり、最高は私営工商業とす。預金は個人預金。

(注) アジア各国とも産業資金供給の多くが政府により、したがって中央銀行の資金供給も対政府が主である。